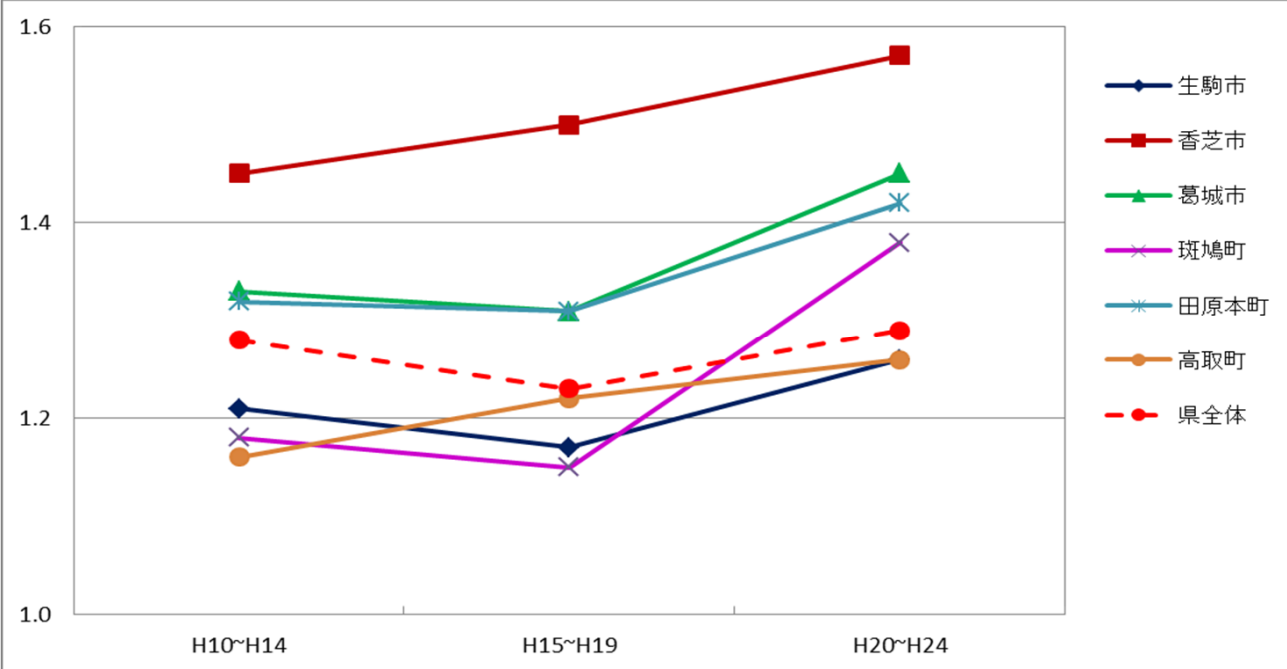


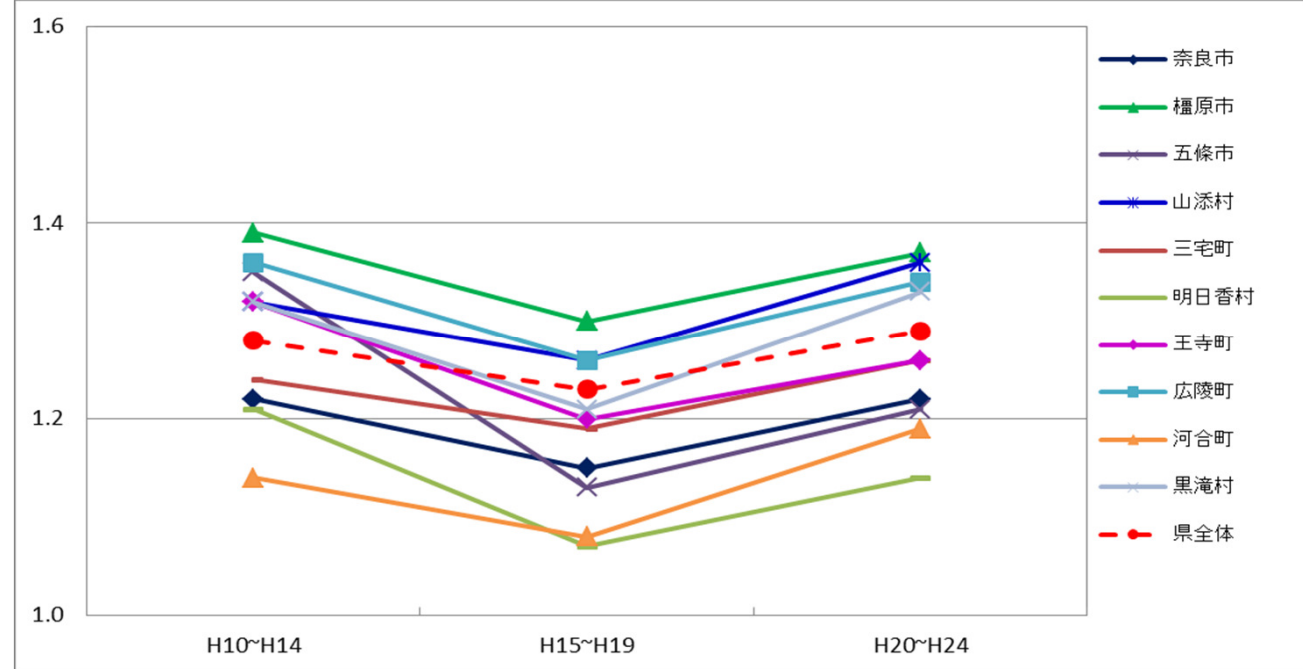
1 市町村の合計特殊出生率の分析① H15年以降の推移 <人口動態保健所・市町村統計(厚生労働省)より>

合計特殊出生率が「改善されている地域」や「低下し続けている地域」を明らかにするため、各市町村の推移をグルーピングした。約10年前(H10年～H14年平均)までは、ほとんどの市町村において合計特殊出生率が低下していたため、県平均で数値が最も低かった約10年前以降(H15年以降)の各市町村の推移を比較した(数値は、合計特殊出生率の5年間の平均値)。

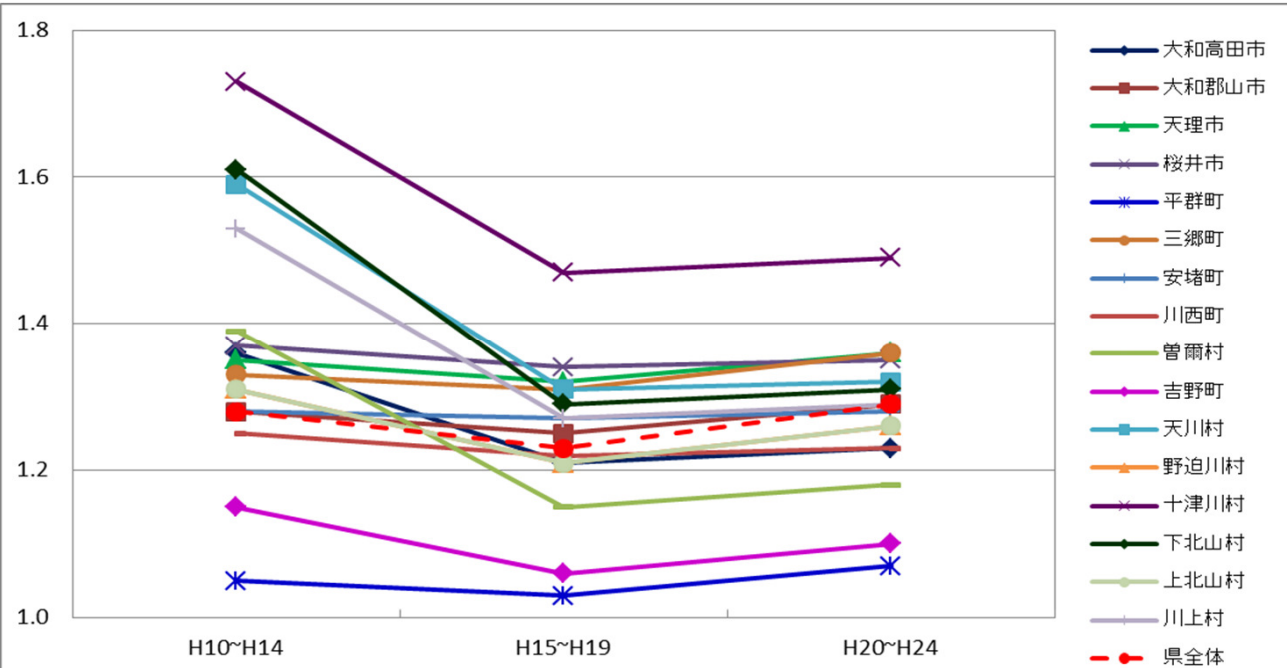
① 改善グループ(香芝市、斑鳩町、高取町など6市町)
合計特殊出生率が**上昇し続けた**、または、10年間の**上昇率が県全体を上回った**市町村



② 中間グループ1<改善がやや大きい>(奈良市、河合町、黒滝村など10市町村)
一旦、合計特殊出生率が低下したが、その後の5年間では**県全体を上回る**上昇率で上昇した市町村



③ 中間グループ2<改善がやや小さい>(大和高田市、川西町、十津川村など16市町村)
一旦、合計特殊出生率が低下したが、その後の5年間では**県全体を下回る**上昇率で上昇した市町村



④ 低下グループ(上牧町、宇陀市、大淀町など7市町村)
合計特殊出生率が、10年間**低下し続けた**市町村

